

しんあい

季刊

2018年（平成30年）9月20日発行 第107号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10
TEL 042-367-8801

多摩同胞会のホームページでは、
ブログを毎日更新しています。

<http://www.tama-dhk.or.jp/>
をぜひご覧下さい！



6月27日、府中市自衛消防審査会に出場しました。

今年は救助活動などでチームワークと臨機応変な判断を求められる審査でした

泉苑

- ・特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・高齢者在宅サービスセンター
泉苑ケアセンター

緑苑

- ・養護老人ホーム信愛寮
- ・特別養護老人ホーム信愛緑苑

あさひ苑

- ・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・府中市立あさひ苑
高齢者在宅サービスセンター
- ・府中市高齢者住宅うらら多磨

神田事業所

- ・特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・かんだ連雀高齢者
在宅サービスセンター
- ・千代田区立岩本町ほほえみプラザ
- ・千代田区立かがやきプラザ
相談センター

児童福祉

- ・子ども家庭支援センターしらとり
- ・母子生活支援施設白鳥寮
- ・母子生活支援施設網代ホームきずな
- ・府中市子ども家庭支援センターたち

◆ 社会福祉を考える 2

◆ 平成29年度 事業報告および決算報告

◆ 施設だより 「おいしい話」

社会福祉を考える

高齢者の居住問題と養護老人ホーム(2)

副理事長 小笠原 祐次

2 高齢、一人、低所得の人々は、

住居確保困難に陥りやすい「格差社会の社会問題」

人の暮らしも高齢者の暮らしにも、基盤として所得、住宅、医療が不可欠です。年金、医療などは社会保障の制度化が進み、それなりに安定的になってきています。しかし、年金も基礎年金しか受け取れない高齢者は、月10万円前後で、経済的には厳しい状態です。特に一人暮らし高齢者、約600万人の内3割程度の人々は、年額平均11万円程度で生活しなければなりません(「国民生活基礎調査」による)。こうした結果が、高齢一人暮らしの人々の生活保護受給を増やしています。保護受給高齢者世帯の9割が、一人暮らしです。

また、高齢一人暮らしの人々の住居状態を見ると、高齢者世帯の中でも持ち家率が最も低く、公営住宅や民間アパート、マンション住居が多く、住居条件は不安定です。

高齢者の中でも、所得の格差が広がる中で、高齢一人暮らしで低所得の人々は、住居確保困難に陥りやすい状況におかれています。これは格差社会の中での社会問題です。

3 高齢者の居住対策は、どのように変わってきたのか

表3「高齢者の施設と住宅対策の変化」から対策の推移の特徴を見てみたいと思います。

戦後から昭和38年老人福祉法が出来るまでの間は、高齢者に絞った対策は見当たらず、低所得高齢者の施設対策が中心でした。養護老人ホームの設置や生活保護法、社会福祉事業法の「宿所提供施設」の設置運営が中心だったのです。

老人福祉法ができるやと公営住宅法に、高齢者向け住宅が定められます(一人暮らしは55年まで入居できず)。しかし依然として、養護老人ホームや宿所提供施設など低所得高齢者への施設中心で、わずかな公営住宅だけでは不十分であったために、いくつかの自治体では、独自の生活支援付き住居、施設の対策を進めました。(滝川市や中野区など)

本格的に高齢者向きの住宅確保対策が動き始めるのは、昭和62(1987)年のシルバーハウジングの創設でした(東京都のシルバーピアもこの年)。低所得高齢者の居住の場である養護老人ホームは、昭和53(1978)年の「今後、新設を認めない」方針の通り、現状維持に止めていきましたので、居住確保困難な高齢者の住宅確保が、一つの重要な目的だったと考えられます。折しも「国民生活白書」が「格差の拡大」を、指摘した時期でした。

平成13(2000)年には高齢者居住法による「高専賃」「高田賃」「高優賃」↓「サ高住」などの高齢者向け住宅の設置が大きく動きました。しかしこれらは、中間層を対象とする住宅供給であったため、低所得、居住確保困難への対応として、平成12、13年頃から宿所提供施設が、急増され始めます。それでも低所得層への対応が追いつかないばかりか、平成20年代に入って、相次ぐ低家賃集合住宅での火災事故を受けて、「住宅セーフティネット法」の制定と改正、「生活困窮者自立支援法」など住宅確保困難者への様々な法律の制定、改正につながってきているのです。

低所得、一人、住宅確保困難者への対策は、ここ数年でやっと本格化したということです。

しかし、住宅確保困難の人々への対策に目が向けられているにもかかわらず「養護老人ホーム」は定員数も利用者も減り続けているのです。

表3 高齢者の施設と住宅対策の変化

	住宅事故（主に火災）	困窮高齢者 施設 老人福祉法	困窮者 宿所提供 生活保護法 社会福祉法	高齢者 住宅 公営住宅法、高齢者居住法
		養護老人ホーム	宿所提供施設（生保法） 宿所提供施設（社福法） （無料低額宿泊施設等のこと）	公営住宅法の高齢者向け住宅 シルバーハウジング、及びサービス 付高齢者向け住宅（サ高住）
S30	養老施設「聖母の園」 火災 96名死亡	「聖母の園」火災をうけ 建物基準を「耐火構造」に		
S31			生）162施設、1万8千 社）100施設、1万1千	
S38	<老人福祉法 制定>	定員4万7千（入所率98%）		
S39				公営住宅に高齢者向け住宅
S48				北海道・滝川市、 老人福祉寮に、ヘルパー常駐
S49				中野区アパートを借上、 低所得高齢者の老人アパートに
S52		「収容の場から生活の場」へ 養護も「個室化」へ、答申		
S53		厚生省、今後、養護の新設 原則、認めず、と		広島県、冬期過疎地小規模 ホーム設置、ヘルパー常駐
S55		定員7万（入所率94%）		公営住宅、単身高齢者入居可
S62 (1987)	特養「松寿園」火災 17名死亡	左により全施設、 スプリンクラー設置、 宿直 義務化	社）53施設、5662人	シルバーハウジング創設 生活支援員（LSA）を配置し、 見守り など
H10				建設省、高齢者向け 優先賃貸住宅（高優賃）整備
H12 (2000)	<介護保険制度、始まる>	定員 6万6千（96%）	生） 11施設、 913人 社） 85施設、4636人	
H13			社）119施設、4963人	高齢者居住法の成立 高齢者の民間賃貸入居円滑化（高 円賃） 高齢者向け優先賃貸（高優賃） にLSA、バリアフリー
H17		措置費が 一般財源化 （措置費執行、自治体の判断に） 定員 6万6千（95%）	生） 12施設、 951人 社） 224施設、7765人	高齢者居住法 改正、 高齢者専用賃貸住宅（高専賃） 整備
H18	大村市、グループホーム（GH）「や すらぎの里」火災 7名 死亡	左により グループホーム（GH）にも、 スプリンクラー設置へ		
H19			住宅セーフティーネット法 成立 被災者、低所得者、高齢者、障が い者等を住宅確保要配慮者に。 住宅提供の情報など、支援を定める	
H21	渋川、高齢者住宅「たまゆら」火 災 10名 死亡			
H22 (2010)	札幌、GH「とんでん」火災 7名、死亡	この頃から、「措置控え」 目立つ		
H23	新宿区 低家賃アパート火災 4名、死亡			高齢者居住法改正、「高円賃」「高 優賃」「高専賃」を廃止し、「サー ビス付高齢者向け住宅」（サ高住） に一本化
H25	長崎、GH「ベルハウス」火災 5名、死亡			
H27	川崎市、簡易宿泊所 火災 11名、死亡	定員 6万4千 （入所率89%）	「生活困窮者自立支援法」 生活保護受給前に、居住支援、 就労支援などに力入れる 生） 11施設、 810人 社） 296施設、9495人	
H29	北九州市、低家賃アパート火災 6名、死亡 横手市、低家賃アパート火災 5名、死亡	(H28) 定員 6万4千 （入所率88%）	住宅セーフティーネット法改正 生活支援員派遣等を規定 社）537施設、15600人 この他に無届施設、1236施設と…	サ高住 6644ヵ所 21万7千戸 （約7割、有料老人ホーム）
H30	札幌市、自立支援施設（無料低額 宿泊施設?）火災 11名、死亡		生活保護法 改正 困窮高齢者向けに「日常生活支援 住居」創設、	

社会福祉法の改正で、宿所提供施設（無料低額宿泊所）は、「社会福祉住居施設」に変更に（平成32年から）

平成29年度 事業報告および決算報告（概要説明）

平成29年度事業報告および決算報告は第300回理事会（平成30年6月13日開催）を経て第70回評議員会（6月28日開催）にて承認されました。

紙面の都合で、概要を簡略にご報告します。前号別紙に掲載のほか、事業報告書、決算報告書・監査報告書等は当法人ウェブサイトにて公開していますので、あわせてご覧ください。

■法人の概況

平成29年度は、「社会福祉法等の一部を改正する法律」（平成28年法律第21号）に基づく法人運営が本格化しました。昨年度に認可を受けた新たな定款および定款施行細則に基づき、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等に取り組みました。組織運営上の主な変更点は、評議員会の人数が21名から11名となり理事や施設長の兼任がなくなったこと、従前の常務理事1名を複数の業務執行理事としたこと、理事長の諮問機関であった常任委員会を業務執行機関である業務執行役員会に移行したことの三点です。

法改正に伴う規程類の整備として、内部管理体制の基本方針を定め、業務管理体制整備規程を内部管理規程として改定し、監事監査実施規程を新設しました。

特定社会福祉法人として会計監査人監査の対象となりました。平成27年度から準備を進めていたこともあり大きな課題はなく、無限定適正意見を受け、法人運営や計算書類の適正性について客観的に担保されました。

ガバナンスの強化を含めた内部統制の充実について今後も継続的に取り組み、地域の皆様やご利用者、ご家族に一層の安心を提供していきます。



■各施設の概況

●泉苑…ご利用者の過ごし方のプロジェクトを中心にご利用者の生活の流れに沿った職員配置や業務分担に取り組みました。また福祉用具の定着を通して「抱え上げない介護」を更に推進しました。

●あさひ苑…指定管理者として二年度目を終了しました。約半年にわたる外壁工事や居室のサッシ交換工事等事故なく無事に終え、生活環境を充実しました。

●緑苑…地域交流スペースを活用し、昼食会や映画会、サークル活動の開催等、地域の居場所づくりに取り組みました。東館の浴室を改修し、ご利用者の快適さの向上と「抱え上げない介護」の実践を目指します。

●連雀…根拠のある共通した業務を通じてご利用者サービスの一層の向上に取り組みました。通所介護では料理教室等の活動を充実しました。ペランダの修繕等、次年度以降に続く大規模修繕への第一歩を踏み出しました。

●岩本…次期指定管理者に応募し無事に選定されました。かんだ連雀やかがやきプラザと連携し、個別の事情に考慮しながら柔軟に対応しました。

●きずな…平成28年度から開始した施設整備4か年計画は12月に第1期工事を事故なく終え、1月に新棟への引っ越しを行いました。新しい環境はご利用者に好評です。

●しらとり…同敷地内の泉苑との連携を深め、行事の合同開催や中間就労等に取り組みました。ショートステイや親子ひろば等の事業は利用も多く、地域のニーズに応えることができました。

●たち…相談事業を中心として各事業の横の連携を密にし、利用者世帯への支援の充実に努めました。

■地域公益活動

①安心シニア塾…平成25年に開講し第5期をむかえました。平成29年度から緑苑だけでなく、泉苑やあさひ苑でも出張シニア塾を開催しています。

②家族支援情報交換会…府中市内の泉苑、あさひ苑、緑苑の3地域包括支援センターと、しらとり、たちの2子ども家庭支援センターが合同で主催し、関係諸機関のみなさまと連携と協力を深めて「家族支援」の実践を深めるために開催しました。今後も継続します。

③しらとり学習サポートサロン（SKY）…近隣在住の中学生及び高校生を対象に開催しています。学習面だけでなく親子食事会や泉苑と合同でのむさこいまつりへのボランティア参加等も行いました。

④食事サービス…施設内で職員が調理している食事を通して地域の高齢者の生活支援や見守りを行っています。泉苑では見守り配食（夕食）とお持ち帰り夕食、あさひ苑では見守り配食（昼食）、緑苑では昼食会を毎日開催しています。岩本町では訪問食事や食事会、お持ち帰り夕食を提供しています。

⑤府中市高齢者住宅うらら多磨…比較的所得の少ない方や生活課題のある方を対象に、社会福祉法人としての高齢者住宅をあさひ苑と連携し、運営しています。訪問介護事業所を併設した医療介護連携型の高齢者専用賃貸住宅です。



平成29年度 事業活動計算書の概況

平成29年度決算は大変厳しい結果でした。

事業活動計算書の収益のうち、サービス活動収益は、3,338,514千円で、前年比＋5,876千円の微増でしたが、これは児童福祉事業収益における措置費単価増やかんだ連雀拠点における高額の寄附金収益、介護職員処遇改善加算の改正によります。

右グラフのとおり法人の収益の65%以上を占める介護保険事業収益は前年比△19,897千円の減収となりました。

費用のうちサービス活動費用は、3,335,857千円、前年比＋96,673千円の増支出となりました。増支出の大きな理由は人件費で、処遇改善加算関係の手当や超過勤務手当の増、基本給の増によります。一方で離職率の低さが当法人の大きな強みでもあり、現状以上の給与水準を目指すためにも収益の改善が必須です。

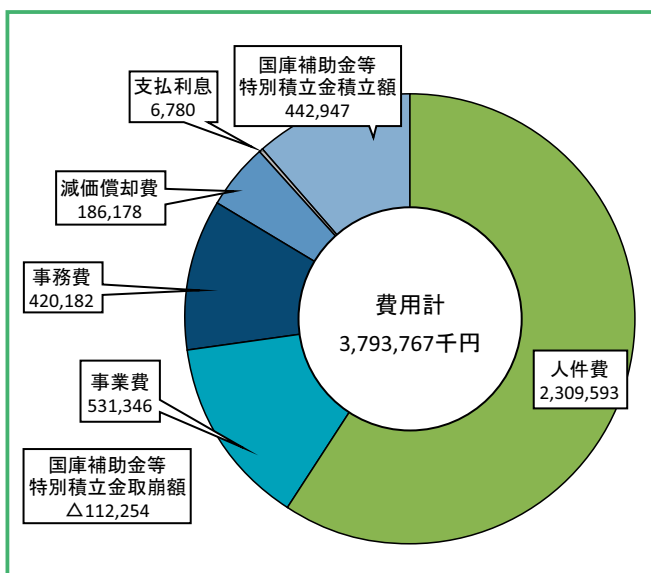
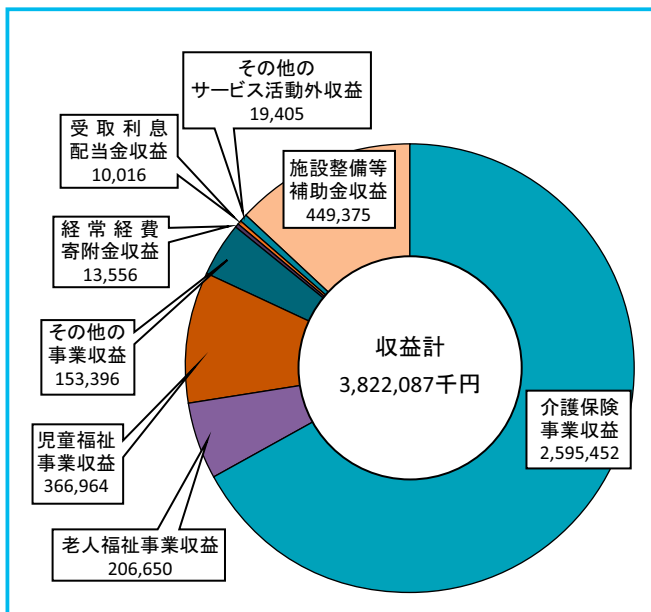
経費について、事業費は前年比＋18,478千円の増でした。電気料金や燃料費の単価増が主な理由です。事務費は前年比＋8,355千円の増で、主として修繕費の増と採用関係の広報費の増によります。

特別費用のなかの国庫補助金等積立金積立額は、網代ホームきずなの第1期工事における施設整備等補助金収益によるものです。

費用の増が収益の増を大幅に上回ったため、当期活動増減差額は28,320千円と、前年度に比べ90,000千円以上も減となりました。

平成29年度決算の厳しさを踏まえて、平成30年度は収支の改善が最大の課題です。地域のニーズに応えるサービスを一層充実し各事業の利用率の向上につなげることや、ICTの活用等により職員の負担を軽減しつつ加算を確実に算定すること等の取り組みを通じて収益の改善をはかります。

また職員の意向調査をもとに、時間年休を制度化したほか、遠隔会議システムの導入による研修や会議の効率化等、一層働きやすい職場づくりを進めています。経費については、法人全体での契約によるスケールメリットの推進や電力会社見直しによるコストダウンを実現する予定です。



■ 職員状況

平成29年度末の職員数は正職員293名、準職員は常勤77名、常勤換算229.3名（実数427名）です。

正職員の平均勤続年数は10.5年、10年以上勤続が48%、5年以上68.2%になります。

平成29年度中の入職者は24名、離職率は7.6%です。定年退職者は全員再雇用職員として経験を生かして引き続き活躍しています。

産前産後休暇・育児休業制度を15名が利用し、年度中に5名が復職しました。

採用試験は10回開催し、計35名を採用しました。平成29年度中に採用された新入職員には3月末に3日間の入職時研修を行いました。

■ 研修

研修は年度計画に基づき実施しました。13のテーマにわたる法人企画研修のほか、高齢施設・母子施設・事務局のそれぞれにおいて基礎スキルの習得を目指したプログラムを年間15本を行いました。海外研修（スウェーデン）は視察型研修を実施し、高齢施設の管理職や事業責任者を中心に6名が各々のテーマを持って参加しました。

平成29年度から各施設研修担当による研修担当者会議を開催しました。

研修担当者会議の検討により、平成30年度の「相談員」のスキルアップのための連続研修の開始、「国際福祉機器展」×「スウェーデン研修」が相乗し、ICTを推進するプロジェクトが発足、現在検討を進めています。

■ 意向調査

全職員を対象にした意向調査を延3回実施し、規程改正や平成30年度事業計画に反映しました。



しらとり&かんだ連雀

～淡路町に子どもたちの声が～

かんだ連雀では1階フロアの改修をしました。

1階ホールは地域高齢者の居場所作りのための「はあとサロン」や、認知症の方やそのご家族の方などが集う「はあとカフェ」、介護予防のための「シルバーレニングスタジオ」などを行っています。

そのスペースの一角にあんしんセンターの事務室がありますが、年々事業の拡大とともに人員が充実し、8人の職員体制となり非常に手狭になっていました。一方連雀の正面入り口が無人で防犯上も課題があったため、左側のスペースを活用し、あんしんセンターの事務室を移設しました。今までは狭くて荷物が多く、倉庫のなかで仕事をしていたのですが、すっかり事務室らしくなり、効率的に業務に励んでおります。

同時に、元のあんしんセンター事務室を活用して、子育て支援事業を開始します。これは千代田区の新規事業のひとつで、保育園等がお休みの日曜祝日にお子さんを預かることで、子育て中の介護職員の休日勤務を可能にし、安心して働くことができるようにするための支援事業です。子育て支援に実績がある当法人のしらとりが担当し、連雀と二人三脚で、良い事業に育てていきたいと考えています。

高齢者施設で小さな子供が遊んでいる…新しい淡路町の風景を楽しみに想像しています。

(かんだ連雀施設長 武田潤一郎)



～子育て支援がつなく高齢者施設と地域交流～

泉苑 しらとり かんだ連雀

しらとり&泉苑

～むさしだいに みんなこい！～

連日、猛暑が続く中、7月22日 日曜日、泉苑としらとりが合同で主催する「むさこいまつり」が開催されました。

ゲームコーナー、かき氷、ヨーヨー、フランクフルト、焼きそばと盛りだくさんなプログラムでした。地域の「よさこい武蔵」と「武蔵台囃子連」の皆さんをお迎えして、一緒に踊ったり、獅子舞に驚いたり、楽しい時間を過ごしました。

「むさこいまつり」のボスターのメインのイラストは、職員の手描きです。施設の掲示板や近隣の施設等に掲示をお願いしました。

泉苑のご利用者も外に出て、はしゃぐ子ども達の姿をみて「かわいいねえ」と顔をほころばせていました。昨年に引き続き府中市「元気一番！ふちゅう体操」のキャラクターである「ひばピー」が登場し、子どもたちと元気いっぱいふちゅう体操を踊りました。一緒に写真をとったり、お土産をもらったりと盛り上がりました。

地域のお世話になっている方々や、トワイライトステイやひろばのご利用者も遊びに来てくださり、普段会うことができない方々の元気な姿を見ることができました。「きました！」と声をかけていただき、職員一同嬉しく思いました。

お手伝い頂いたボランティアの皆様、熱々の鉄板の前でひたすら焼きそば、フランクフルトを焼き続けた職員の皆さん、お疲れさまでした。暑さが心配ではありましたが、皆様のご協力があり、無事に終わることができました。来年も、笑顔あふれるお祭りにしたいです。

(しらとり地域支援ワーカー 草野祐恵)



施設 だより



おいしい話



まだまだ暑さも残りますが秋ももうすぐ本番！
今回はそれぞれの施設での「おいしい話」に
まつわる話題をお届けします。

きずな

今日のご飯は 何かなあ？

きずなの調理室と保育室は大きな窓で仕切られていますが、保育室の中で遊んでいても、ごはんやおやつのおいしい匂いがして来たり、トントンと調理している音が聞こえてきます。

子ども達もいい匂いにつられて窓のところへ行き、精一杯の背伸びをしたり、椅子を運んで調理室の中の様子を眺めるのが大好きです。調理室では子ども達の年齢や様子に合わせて、0歳児の離乳食から、保育児の給食やおやつ、学童のおやつとたくさんのおいしいメニューが用意されています。

最近『食育』という言葉をよく耳にします。『食べる力』＝『生きる力』とも言われており、きずなでも『食』を大切にしています。

おいしい食事を作ってもらっただけではなく、みんなで野菜を育てたり、収穫した野菜を給食やおやつで頂いています。

みんなで一緒に食べることや、自分で収穫したものを食べることで、食欲もおいしさも何倍にもなり、お腹だけではなく心も満たされています。改築工事に伴い、あと半年程でこの調理室とお別れになりますが、最後の日まで「今日のご飯は何かなあ」とおいしい食事を楽しみたいと思います。

（保育士） 山田恵未



連雀

おいしい料理教室

かんだ連雀デイサービスでは、7月下旬に料理教室を開催し、ご利用者と職員と一緒に夏野菜のキーマカレーやハヤシライスを作りました。

この料理教室は、ご利用者から「昔は作っていたけど今は危ないと止められている」「二人では自信がないけど、みんなとなら出来そう」「ご飯を作ってみたい」との声に、平成27年度から年に2回、食事係と協働で料理教室を始めました。餃子、グラタン、親子丼、クリームシチュー、太巻きといろいろな料理に挑戦し、料理を楽しむだけでなく残存機能を生かした作業を行うことで、意欲の向上や生活動作に繋がられる活動として行っています。

料理中はご利用者自らが率先して楽しみながら作業に取り組まれ、包丁の手さばきも最初はおぼつかない方もいましたが徐々に思い出され、トントンとリズム良く切られていました。お食事も普段以上に食が進まれ職員もうれしかったです。

それでも、今年のおやつ作りでつくった甘い甘い「さくら餅」の方が、おいしい顔をされていたような。

今後も料理教室を続け、利用者の皆さんと一緒に、おやつに負けないおいしい料理を作り、元気な生活をしていただきたいと思います。

通所相談員（社会福祉士） 丸山徹





身体に おいしい話

介護予防事業の教室で地域の皆様と体操をする時、よく「骨盤を立てましょう」というお声掛けをします。骨盤を立てるとは、骨盤が適度に前傾している状態のことを指します。体操を行う際にはお馴染みの姿勢ですが、これを普段でも意識し骨盤を立て、姿勢を正すと次のような効果があります。

歩行の際、歩幅が広くなりつまずき防止になります。つまずき防止には、脚の筋力はもちろん必要ですが、歩幅も大切で、それには姿勢が関係しています。また、内臓の位置が正常になり機能が向上し姿勢をキープすることでダイエット効果も期待できます。

見た目も美しくなるので骨盤を立てるだけで身体にとっておいしいことがいっぱいなのです。ぜひ、皆様も骨盤を意識して生活してみてください。

週に一度公民館等で元氣アップ体操を行っています。興味のある方は是非ご参加下さい。

地域デイ担当 鶴野真由美



思い出は 人それぞれ、 おいしい話

ご利用者とお話をする際にそれぞれの故郷の「食」に関する話題が及ぶことがあります。食べ物のお話をされる時、昔を懐かしみ、穏やかな表情をされる方も多いように感じます。



お使用で、家で採れた大豆を豆腐屋に持って行き豆腐と交換してもらったことや、東京湾がまだ豊かな漁場であった頃、河口にいけば浅利やシャコが取れた話など「今と違って何にもない時代だったから

ね。」と話されますが、共通しているのは、食物を決して無駄しなかったこと。

食べ物のお話を通じて、ご利用者との距離が近くなると共に、本当の豊かさとは？と顧みる機会ともなり、自分にとってありがたく「おいしい話」となりました。

居宅介護支援事業所(介護支援専門員)江國岳



みんなで 楽しく！ お食事会

緑苑では月に一度、フロアごとに「お食事会」が行われます。お食事会では、ご利用者の希望に沿った献立を作成します。そして当日は食事係のフロア担当者がご利用者のもとへ行き、目の前で会話をしながら料理をしたり、時には皆で協力しながらお昼ご飯を作ります。

今回、地域密着型特養の献立は夏の定番メニューの冷やし中華です。いつもの食卓であれば出来上がったものが目の前に届くのですが、今日はそうはいきません。野菜を切ったり、フルーツヨーグルトを作ったりと皆さん大忙しです。

でも、皆さん楽しんでいらっしゃる様子。昔を思い出して包丁をにぎったり、おいしくできたか皆で味見をしたり・・・自分たちで作ったご飯はいつもよりも格別においしいようで黙々と召し上がり見事完食です！

食事係(栄養士) 永井智



たっち

おいしい匂い

子ども家庭支援センター たっちの総合受付には、「情報コーナー」という飲食ができるスペースがあります。お昼時になると、人が増えてあつという間に子どもたちとご家族でにぎわいます。たちまち、情報コーナーからはおいしそうなおはんの匂いが漂います。ハンバーガー、ポテト、チキン：と様々な匂いがします。

たっちは駅に近く、くるるといふ商業ビルのなかにあるので、飲食店も多く美味しそうな食べ物も沢山あります。子ども達が「今日は、〇〇買ってきたのー」「お弁当食べるー」と嬉しそうに教えてくれます。おいしそうなおい匂いで、みんなは何を食べているのかな？私のおはんは何にしようかな？と考えるのが、楽しみのひとつです。さて、今日はどんなおいしい匂いがするのかな？



総合受付（社会福祉士） 恩智 温子

しらとり

おいしい

夏休み

毎年恒例の夏休み行事「あそぼうデー」。

この日は学童児と保育児が合同で夏の遊びを楽しみました。水鉄砲や水風船を使ってダイナミックに水遊びをし、お昼ご飯には流し素麺を楽しみました。素麺を流す竹の水路はなんと学童児と職員の手作りです。食べなれた素麺もいつもの何倍も美味しく感じるようで、子ども達はペロリと平らげました。



そしてデザートにはスイカ割り！大きなスイカに子ども達は大喜び！持ち上げてみようかと挑戦したり、かじろうとしてみたり！ぐるぐる〜と回ってから思いっきり棒を振りかぶりますが中々スイカは割れず…。最後は調理師さんに綺麗にカットしてもらい、たくさんおかわりをしました！夏の味覚を楽しみ、おいしい一日となりました。

（保育士） 吉田智咲

岩本町

夏の楽しみ

岩本町ほほえみプラザでは、毎年7月下旬に納涼会を開催しています。施設のご利用者はもちろん、地域の方々も多く参加されています。ですが、今年は大型台風接近のために急きょ中止することになってしまいました…。

しかし、せっかくの年に一度のお祭りです。3階シヨートスティの食堂を利用し、施設内限定の小さな納涼会を開催しました。輪投げやスイカ割り・盆踊りなどを皆さん楽しめました。

納涼会の締めくくりにはスイカがふるまわれました。楽しんだ後のスイカは格別だったようで、皆さんおいしそうに召し上がっていました。

シヨートスティ

介護員

（介護福祉士）

菊地春美



ボランティア紹介

あさひ苑

カーレット

あさひ苑デイサービスで月に1度、第3火曜日にカーレットの活動を行っています。一年が経ちご利用者の中には「今日はこれだね」と楽しみにしてくださる方もいて少しずつデイサービス内でも浸透してきました。

カーレットは元々西日本の震災後、避難所であることがなく被災者の方のストレス発散にと開発されました。オリンピックでカーリングが有名になりましたが、その卓上版ということで手軽に皆が行うことが出来ます。ルールはあさひ苑ルールを採用、点数や作戦は先生方の助言で進めています。

皆さん徐々に力をつけ、先生方も「上達している！」とお墨付き杖をついて歩かれたり、なかなか椅子から立ち上がりたがらない方も、自然とすたすた歩き、ご自分の順番になると定位置に向かわれます。

伊藤美穂子



御寄贈・御寄付ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

朝日町町会 大沢良三 (株)大塚商会 大塚元子 大橋啓吾 北山町夏祭り盆踊り実行委員会 北山二丁目町会 北山ホームサービス 栗原忠雄 佐藤右介 千代田区ひとりの親家庭福祉会 (株)デイスカレッジエンターテイメント 東京都食肉生活衛生同業組合 永井よし子 西原町自治会 ファミリークラブあさひ苑 府中市第五地区民生児童委員協議会 本間啓一 前川浩子 三井物産(株) 望月友子 吉田ヒサ子 (株)リクルートライフスタイル

(2018年6月・2018年8月)

ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

青木晃子 青野まり 赤田美恵子 赤林好子 秋元優子
阿部才千代 荒井迪子 荒波智子 有本陽子 飯田と志子 飯塚喜多子 囲碁を楽しむ会 石井久子 石井宏志子 飯塚勝世 石坂トメヨ 市川アイ子 市川知子 井出睦子 井上智美 今喜多トシエ 今橋ヒロ子 岩井健岩崎順 岩瀬美穂 上野時子 植松八千代 魚川桂子 内保三重子 内堀美喜 梅原薫 梅原光洋 ト部和子 上床晃代 江畑順子 海老澤信子 遠藤伊代 遠藤慧子 遠藤みつよ 遠藤陽子 大倉弘子 大嶋友子 大島庸子 太田久美子 大坪イネ子 大野文子 大野吾加子 大場正子 大原捷子 大屋康夫 大類浩平 岡田基子 岡智恵 岡部早苗 小川健治 沖田眞南人 荻野和子 奥山亜子 奥山千ヤ子 オコサの会 小崎慶子 尾崎節子 尾崎晴子 尾崎絃之 尾崎靖宣 音楽園 おはなし夢くらぶ Ohana Hula Team 小柳亜樹子 折田浩一 カーレット 海江田紀久子 鹿島キチ 鹿島千重子 紮野美千代 カットサロンアベ 加藤栄子 加藤静加藤規子 加藤廣治 加藤美子 加藤洋子 金指美美金澤静江 金子武仁 上沢美和子 上村修 神山しげ子 亀岡紀知信 川崎雅人 川村智子 菊池和彦 菊地裕子 きずけ合唱団 ギター演奏による歌の会 北島美恵子 北田悦江 木谷教子 北村よしこ 木森哲 具嶋郁子 國定毅 久保田摩耶子 久保紀子 隈元与志恵蔵内睦子 栗原宏子 グレースと宝石 黒川澄子 黒川トヨ子 桑原侑子 (南)櫻式典 弦間まさ 小池昌子 小石曉子 小出農一 小出由美子 黄美華 石澤圭子 小久保桂子 小島ユミ子 小島百合子 小菅よし江 後藤祐輝 小林恵子 小林幸代 小林照子 小林久恵 小林真弓 小林道子 小林わか子 駒ヶ嶺泰秀 是永美代子 今野幸子 齋藤健三朗 齋藤孝子 齋藤千枝子 齋藤則子 酒井和子 坂本越子 坂本尚子 佐久間桂子 佐々木英子 佐治美枝子 听 真咲 佐藤イソ 佐藤公子 佐藤翔太 佐藤なか子 佐藤初江 佐藤秀和 佐藤正江 佐藤雄也 佐藤理加 佐野田鶴子 椎名君代 塩澤佳津子 栗田勝 重田文子 品田啓子 島内司 島津たか子 島添修二 清水智子 清水文枝 清水美砂子 清水光子 下江美鈴 下染谷雛子連 下宏子 写真 白神早斗子 進藤サエ子 進藤登美子 新村信子 杉本節子

鈴木暉子 鈴木敦子 鈴木瞳 鈴木好枝 鈴木好子 すみれ会 瀬木瑞生 瀬戸貞子 浅間の森ハンドベルの集い 高桑なをみ 高橋恭子 高橋チヨ子 高橋ヤヨイ 竹内由美子 竹松ふく 田島みよ 田中久美子 田中典子 田中雅子 谷澤ミツ子 谷野みよ子 田野倉晴美 田部美智子 多摩スマイル吹奏楽団 多磨町会 田村知江子 丹野由紀子 千葉よし 長明美 土屋とき枝 堤明 椿原量子 寺町律子 寺村京子 戸島正子 栃谷さき 富田秀子 永井文子 中垣春代 長澤道子 長島広美 中田夏枝 中根歩乃果 中野渡とみ子 中村千代子 中村美佐江 中村恭俊 中山伊久子 中山寿美 中山貴博 中山康 二胡とゆかいな仲間たち 濁川直之 西久保長子 西野侑子 西村珠美 二宮澄子 根岸光紀 根正正子 野坂昭弘 野坂登代 能登すみ子 橋場昭 長谷川和子 長谷川志津子 早矢仕房男 原田園彦 原田まち子 原田康子 原俊江 樋口淳子 樋口よし子 肥後住江 久島なる子 日高千敦子 平泉順子 平岡美津子 平澤みどり 平田三千雄 平松ふじ子 広木さく江 ファミリークラブあさひ苑 深澤眞紀子 深堀紀美子 福田佐代子 福田トミエ 藤井優佳 藤記節子 藤田京子 船岡栄子 舟見三佐子 プリモ・ピアット 古園純子 ふれあいクラブ浅間 保坂良子 星野若佐 細木南美 堀田武三郎 堀江深雪 孫田一昭 政所優季 町田知行 松下朗 松下健 松田恵子 松野アイ 松宏宏枝 松村照代 丸田のぶ子 三坂和子 三輪孝子 壬生みつ子 宮崎清子 宮崎美佐恵 宮田若菜 雅FULLA 宮本康子 明神淑恵 村井福子 村岡栄美子 村田博子 明治安田生命 本野幸子 百瀬洋子 守屋貴美子 森脇敦子 八重の会 矢崎英子 矢澤志生 山上夏南衣 山崎キヌ子 山田一丸 山田佳津江 山田ケイ子 山田順子 山野栄治 山本恵美子 山本峯子 山森貞枝 鐘溝千寿子 ゆうかファミリー 横尾美知子 横山年子 吉岡秋夫 吉竹佐紀 吉田恒雄 吉田ヒサ子 吉田陸子 吉田やよひ 吉水サツ子 吉本栄子 米山秀子 るりまっりの会 朗読赤十字奉仕団 脇山令子 和田風雄 渡辺勇 渡辺一恵 渡辺勝征 渡邊恵子 渡邊弘子 渡辺浩美 渡邊房子 渡辺守 (2018年6月・2018年8月)

編集後記

今年の夏は本当に暑い(熱い)ですね。大好きな秋が待ち遠しいですが、気が付けば冬になっていそうな夏でした。(たっち 長谷川朝生)

暑い毎日ですが、夏が大好きな私は青い空に白い雲と子ども達とのプール遊びに毎日ウキウキしています。(きずな 山田恵未)

平成最後の夏です。プールもスイカもお祭りも、毎年の夏の風物詩達に「平成最後の」とつけるとなんだか貴く感じます。平成最後の秋はどんな秋にしようか？ (しらとり 吉田智咲)

9年前に担当していたご利用者が施設入所され、先日偶然再会する事が出来ました。何も変わらなず、元気な98歳になられていて、うれしい時間を過ごせた夏でした。(泉苑 南 佳代)

冷房嫌いな私が今年ついに自宅で冷房を使いました。暑すぎたこの夏を乗り越える為には必要だと感じました。(泉苑 開田圭一)

猛暑や大雨の影響で野菜や果物が高騰、今から実りの秋を待ち望む夏でした。(あさひ苑 高野幸枝)

近所のカフェのコーヒーが絶品で暑さしのぎも兼ねて良く飲みに行っています。休日の良いリフレッシュになっています。(あさひ苑 Y M)

長かった夏をサッカラーや自転車で楽しすぎたせいか、「日焼けしてますね」でなく「焦けてますね」と言われる今日この頃です。(連雀 栗沢尚広)

今年はエアコンの稼働率が大幅に上がりましたが、使用電力料金はそれほどありませんでした。改めて技術の進歩を実感できた夏でした。(岩本町 松本幸二郎)

懸案だった決算書の概要説明をようやくご報告できました。コストダウンにむけて検討を進める夏でした。(事務局 青木志乃)

働き方改革関連法が可決、成り立ちました。法人でも取り組まなければならない課題について情報収集を始めた夏でした。(編集長 上野廣美)

介護に関するご相談は
無料ダイヤルで！

●泉苑

☎0120-6540-24
老後支援24時間

●あさひ苑

☎0120-2942-24
福祉にっこり24時間